

トランプ二期目の政策「プロジェクト 2025」

担当:石田 2024 年 1 月 28 日

政治状況 : 日本 - 突然の特捜介入 (一人逮捕のみ、安倍派解体) の真相は、GHQ が作った東京地検特捜部の前身「隠退蔵物資事件検査部」を理解する必要。安倍政権が検察人事に介入 (検事総長黒川氏) した遺恨 Biden 民主党政権のウク援助が共和党下院の反対で不発、日本の岸に押し付け (2 月 19 日ウクライナ復興支援会議) 山口敬之説 (官僚売国奴集団: DVD) **米国 - 大統領予備選挙**、民主党はヘイリーに資金投入するも初戦、二戦とも Trump 压勝。民主党は、共和党分製作戦 (大金投下) Biden 降ろしと暗殺計画。Trump 勝利なら 3.11 まで大暴露。**ノストラダムス (22 世への道を語る)**: トランプ復活の可能性は 60% ある。もう一回、後 8 年大統領をやる。一期目のトランプはジェフ・セッションズの推薦で官僚を決めていったが、バノン以外マチス国防、ビル法務など、ほとんどが反露感情、Putin を理解できない官僚達 (DS の真相、中国共産党の蘭金黄工作)

プロジェクトの概要: 2024 年大統領選挙で共和党が勝利した場合に米国連邦政府の行政府を再編する計画。作成者ヘリテージ財団会長談: 長期に渡る文化的マルクス主義の浸透を終了させる。大戦前はソ連国際共産主義運動、近年は中共による工作、超限戦の成果、米国の国家乗っ取り。

- ・ 司法省の資金を削減、FBI と国土安全保障省の解体。教育省と商務省の廃止など。
- ・ 1807 年反乱法を直ちに発動して国内法執行のために軍隊を派遣し、司法省にトランプ敵対者を追及するよう指示。Trump 政権高官ポールダンス談: 「DS との戦いに備えて、訓練され、本質的に武器化された保守派を新たな軍隊として導入するための組織的準備をしている」
- ・ 米国を破壊している急進的なマルクス主義の検察官を解雇する。ソロス支配下地方検事。
- ・ DS を完全に抹殺する。また、アメリカ史上最も腐敗した President である Biden と Biden 犯罪一家全員を追及する特別検察官を任命する。(一期目公約の遂行: Drain the swamp) 中絶: 食品医薬品局は倫理的および法的に、(中絶薬) 承認を再考し撤回する義務がある。

市民権: 国勢調査に「アメリカ国民」であるかどうかの質問を織り込む。不正入国者問題。

気候変動: 温室効果ガス排出削減は取らない。同盟国に化石燃料の使用を奨励する。連邦政府は石油、ガス、石炭資源を開発する義務がある。パリ協定離脱。気候変動を否定する。

大統領権限の拡大: 連邦行政府全体を大統領の直接管理下に置き、司法省、連邦通信委員会、連邦取引委員会、および、その他の機関の独立性を排除する。『当面の優先事項』は反乱法に基づき軍隊を派遣する。国家反逆罪者を逮捕、軍事裁判、処刑。今も軍最高司令官 Trump。

LGBTQ+ の排除: 「性的思考、トランスジェンダー等の差別の禁止」の規制を撤廃する。

ポルノの非合法化: Porn は言論の自由と同列ではない。違法薬物と同じ程度の中毒性があり、全犯罪と同じくらい精神的に破壊的であり、禁止。Porn を拡散する通信企業は閉鎖。

政府職員: (トランピズムを支持しない) 人材を大量に解雇する。人材データベースを確立し、数万人の保守派を採用する。民主党行政府全体の迅速な乗っ取りを実行する。数千人規模

元 Trump 政権高官談: 連邦政府職員の排除というプロジェクトの目標は「破壊的なものになるだろう」

政教分離: 憲法修正第一条によって作られた教会と国家の分離の壁を解体する。本計画は信教の自由が最優先されており、憲法などの民法よりも宗教的信念が優先されている。

プロジェクトの理念: 米国はキリスト教国であり続けるべき。キリスト教は社会の特権的な地位を享受すべき。米国のアイデンティティはキリスト教から切り離せない。宗教重視。

反応: G.W.Bush 政権高官談: Trump を独裁者として機能させることを目的としたさまざまなアイディアが詰まっている。共和党の気候変動擁護派、自然保護運動家は気候政策に不同意。国家分裂内戦危機。ソロス息子が Trump 暗殺を連想させるような記事を発信 (ガラスの弾丸痕、47 ドル紙幣画像)